

☆ンバーのおもい

第三の場所

「ねころんだ」のことを初めて聞いた時、社会学者のレイ・オルテンバーグが提唱した家や職場とは別の居心地の良い第三の居場所「サード・プレイス」という概念が頭に浮かんだ。郊外的な均質空間や昔ながらのコミュニティは「快適」だが、時々まなまぶらぐもある。

そんな立場や状態に置かれた人がオープンに集える空間を自分たちの手で獲得していくことは、十日町をより豊かな空間にする試みだと思う。このおな空間が今後、十日町市の中に増え、街に多様性が蓄らっていくために、今後も活動をしていきたいと思う。
(柳)



軽～い気持ちから…

フォルトネットの関わりは軽～い気持ちから。家から出られない子の親に元気づけてもらいたい。話をすれば少しは楽になるかな～。聴いたけなら何とか…。そんな思いから出す。今は、他の人についていくのが精一杯です。自分なりに関わりたいとおもっています。
(会計 衣田)

フォルトネット

未来を担う子どもたちへのつながり

フォルトネットとはイタリア語で未来を意味する「フォルトーナ」と、つながりを表す「ネットワーク」を結びつけた造語です。

子どもの不登校・ひきこもりで孤独になりがちなご家族の不安を一緒に分かち合い、不安や悩みを軽減することを目当てに活動しています。

H26年に、オープンスペース「ねころんだ」を開所。イベントの準備、お茶会等をしている自由な空間です。

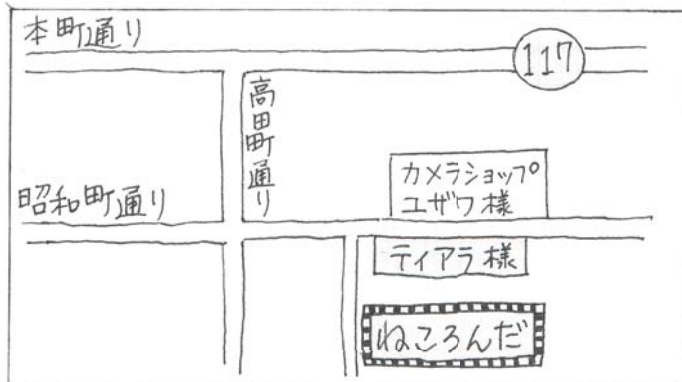
フォルトネット 代表 関口美智江

住所 〒948-0061
十日町市昭和町1丁目
電話 090-4955-4169
Eメール sp9d8w99@friend.ocn.ne.jp

WEB <http://ameblo.jp/f-net0629>

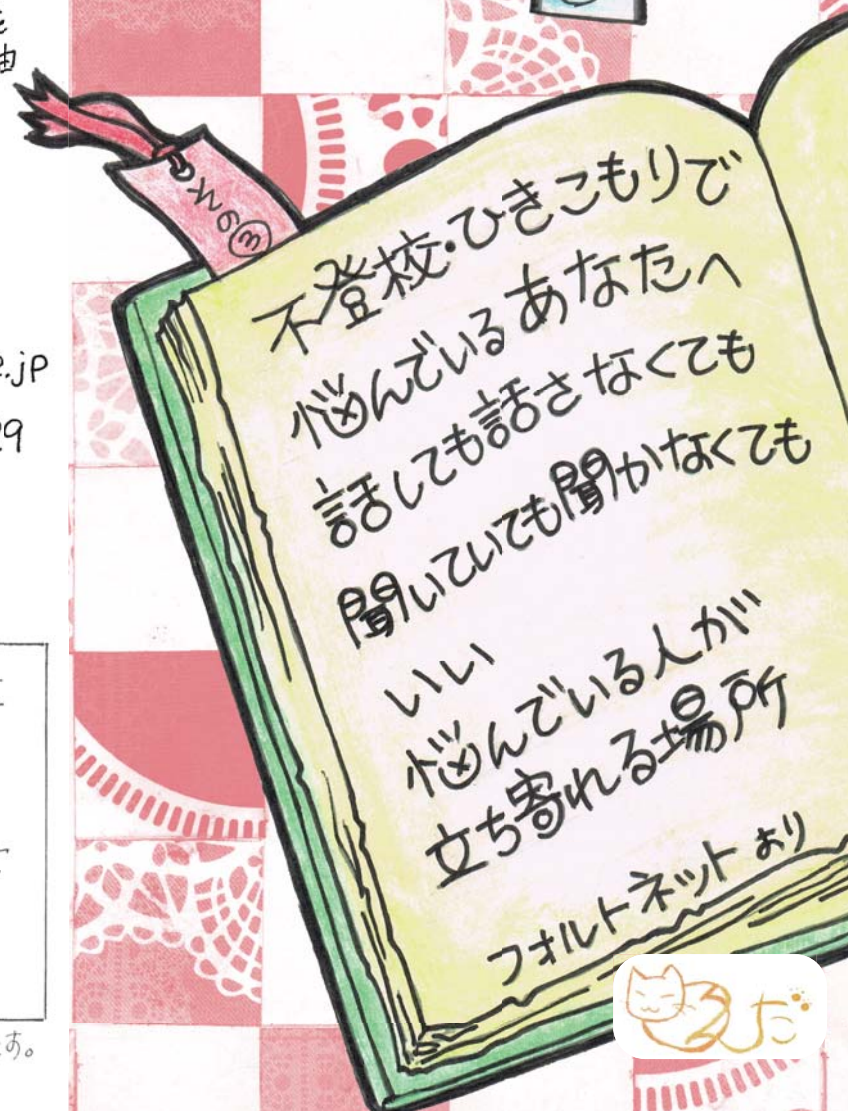
発行 / フォルトネット編集部
平成26年3月15日

印刷 / 有限会社イーコム



本案内は、全労済地域貢献助成事業の支援により作成されています。

ねころんだ通信



フォルトネットのあゆみ

ねころんだオープン



「ここ…ふいきな空間」

サタデ-市長室

サタデ-市長室
会場



「ひきこもり相談窓口は、どこですか」

藤里町へ



ひきこもりでまちおこし??

ねころんだの
作業風景



メンバーがカンバン職人に!?

ねころんだオープン

時間がゆっくり流れ、心地よい。気軽に
よれて安らぐ空間であるように…。
プロの指導の下、当事者自身で床貼り・ニス塗り
作業を行う。備品は統廃合となった学校から
寄付を受けた。また、草刈り・畝立てをして畑を
開墾。秋には、収穫祭を開催。

サタデ-市長室訪問

これを機に、福祉課が、ひきこもり相談窓口として
明確化される。また、'ひきこもり支援'の視察
として、秋田県藤里町社会福祉協議会の訪問を
提案。この後、民生委員を通じて、ひきこもり者数の
調査が実施された。

秋田県 藤里町 訪問

7時間の道のりを、藤里町社協へ。フォルトネット
メンバー5人で、先進的な事例の勉強に。
当事者が活動している「こみっと」の料理を堪能。
白神山地の景色を楽しみながら温泉も満喫
した。…勉強の方は?

イベントの案内を作製 in ねころんだ

自分たちの活動を広報すべく、チラシを発行。
イラストやパソコンスキルなど、みんなの
特技やアイデアを取り入れて作成。また、他団体
から依頼された、イベントポスターを作製。
自らの発信力を高める経験となった。

nekoronda